



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

11月も輝く 11月号

# 福玉、便り

2013年11月6日(水)発行

ふく たま だ よ り

通巻 第18号

発行『福玉、便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部  
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com  
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731  
印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

前回、台風で延期になってしまった  
ママランチ会のお知らせです。

## いまのこと、これからのこと、 一緒に考えて、話し合いませんか?

### 第2回ママランチ会

～新潟&山形県の避難者交流会の視察報告&支援者発表会～

11月24日(日) 11:30～15:00

場所:別所沼会館ヘリテイジ浦和

中浦和駅より徒歩10分

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区别所4-1 4-1 0



いま、他県に避難している方たちが何を悩み、考え、行動しているのか——意見交換した様子を報告します。いまのこと、これからのこと、一緒に考えて、話し合いませんか?おいしいごはんもご用意します。ぜひ、ご参加ください。(山形県の視察報告はP3をご参照ください)ご参加くださる方は、労福協までご連絡ください。

【保育あり】要予約(先着20名)

【問合せ】埼玉県労働者福祉協議会048-833-8731

【主催】埼玉県労働者福祉協議会/法政大学人間環境学部

【協力】福玉便り編集部 さいたま冒険遊び場・たねの会



同時開催! 別所沼プレーパーク 別所沼会館となり

## ヤキイモタイムinかぞびば

11月16日(土) 10:00-15:00

たき火で遊びませんか。会場は加須の冒険遊び場・プレーパーク(通称「かぞびば」加須市騎西中央公園内)。子どもたちが自由に遊ぶことを大切にしたい遊びの場で、毎月第1, 3土曜日に開催されています(埼玉冒険遊び場づくり連絡会の運営)。木のぼり、大工仕事、泥遊び、穴掘り……夢中になっている子どもたちを見て、「うちの子、こんな表情をするんだ」という親ごさんの声もよく聞かれます。避難中の子も加須の地元の子どももみんなと一緒に思いっきり遊んでいます。11/16はスペシャル企画として、ヤキイモタイムを行います。大人も子どもも、一緒にアツアツのおイモを食べましょう!



11月17日(10:30-15:00)には、さいたま市の『さぎ山記念公園』にて避難中の方によびかけてのヤキイモがあります(彩の国県南おやこ劇場主催 連絡先090-8948-4440(佐藤))。

他にも県内各地40ヶ所で、ヤキイモが開催されます。ぜひご参加ください!場所はこちらに掲載! →<http://yakiimotime.com/>(ヤキイモタイムで検索してください。)おとうさんのヤキイモタイムキャンペーン 事務局:ハンズオン埼玉 048-834-2052

## 子育てサロン始めます!

震災で埼玉にきた母たちの子育てサロン

12月8日(日) 10:00～12:00

会場:つどいの広場あそぼうよ2階和室

〒362-0017 埼玉県上尾市ニツ宮1156-3

(上尾駅東口下車徒歩20分)案内図はこちら

⇒<http://www.sainoko.net/asobouyo/jimusyo-chizu.pdf>

埼玉に来て、これまでと全く違う環境の中

での子育て。戸惑いがある中で、子ども

たちは成長していく。子どものこと、自分の

こと、家族のこと、大事にしていくために参加しませんか。子どもは保育に預けて、母たちだけで話しができる場です。否定や批判されない、聞いているだけでも大丈夫、ここで話したことは外には出さない、という3つの約束のもと話します。

保育:0歳から小学生までの保育を行います。(事前申込み要 参加費無料)

主催:ふくたま子育てサロン実行委員会

問合わせ・申込み:048-770-5272(NPO

法人彩の子ネットワーク)

## 県民の日は親子で遊ぼう!!

Let's Go With You さいたま

11月14日(木) 10:00～16:00

親子で楽しめる工作・

手芸教室やヒップホッ

プダンス、ボイストレー

ニングなど楽しいイベ

ントを行います。すてき

なハンドメイド作品の販売も。

詳細は With You さいたまの WEB で。

Tel:048-601-3111



## 上尾向原交流会 落語家と話家をお迎えして

10月12日、上尾向原宿舎の定例の交流会を行いました。

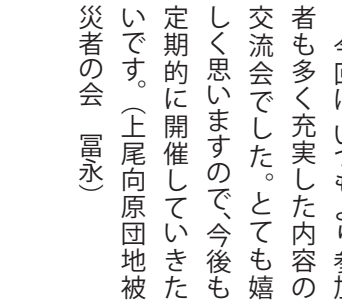
第一部では、司法書士の富永貴さんを講師に迎え、「ADRのための勉強会」を行いました。

第二部では、特別ゲストとして落語家の石神井亭水鳥（しゃくじいていみずどり）さんと、物語屋の中川哲雄さんが来て下さいました。まず、物語屋の中川さんは「お話のお品書き」なるものを配ってリクエストを募り、皆さんの要望に応じて「二ひねり、二ひねり」した物語で笑いを誘っていました。続いて石神井亭水鳥さんの落語では、美しい着物姿で語り始めた水鳥さんの世界に魅了され、聞き

入ってしまいました。普段の生活にはない、お話の世界に浸ったひと時でした。

第三部は、待ちに待った持ち寄りによる交流会となりました。料理自慢の方が集う向原宿舎は、この日もアイデア一杯、カラフルで美味しいお料理が並び、秋の夜長に楽しい笑い声が響きました。なんと「収穫の秋」ということで、団地近くにお住まいの小幡敏郎さん（双葉町ご出身）が、避難生活の中で加須市への通勤農家を行いながら丹精込めてお作りになった埼玉米「彩」のかがやきを、団地被災者全員にプレゼントして下さいました。一粒一粒、噛みしめながらいただきました。

今回は、いつもより参加者も多く充実した内容の交流会でした。とても嬉しく思いますので、今後も定期的に開催していきたいです。（上尾向原団地被災者の会 富永）



## 残念な気持ちも吹き飛ばした室内レク

ふじみ野市のおあがんなんしよ実行委員会では、10月20日に森林公園でのバーベキュー＆森林浴を企画していましたが、雨により野外レクは中止にしました。念のためフクトピアの会場は予約しておいたので、急遽サロンに切り替えて午後から交流会を行いました。福島に帰られた方も参加され、久しく語り合いました。

まず、秋のうたを三曲合唱。普段の定例サロンではピアノの生伴奏で歌うのですが、今回はアカペラ！50人の参加者は残念な気持ちを大声で吹き飛ばしました。

続いて、グループに分かれてリレー形式のゲームを競いました。大豆を箸で隣の皿に移動するゲームは、思ったより難しく真剣になりました。次に、団扇で扇ぎながらピンポン玉の玉送りをするゲームは、高点数の箱を目標けても思い通りに進まず苦戦でした。普段は子ども担当の高校生のボランティアの皆さんも今回初めて大人のグループに入り、白熱したゲームになりました。

唄って声を出し、競いながら童心にかえり、連携プレーのゲームでは身体を動かしながら緊張と笑いの連続でした。支援者の方々の計らいで焼きそばが届き、心と身体の満足に繋がりました。

（おあがんなんしよ実行委員会 松館）



## 「区域外には3年時効は延長されない？」 ご存知ですか？

### 避難指示区域外(自主避難区域)の原発ADR

避難区域外(自主避難区域)の方も、賠償請求ができることをご存知でしょうか。避難区域だけが対象ではありません。じつは、避難区域外(自主避難区域)の方も、原子力紛争解決センターでADR申し立てができます。

避難区域外の、一律の精神的賠償は2012年8月で打ち切られてしまいました。実際にかかった避難費用の現状からはほど遠く、不十分なものでした。

避難しなければ必要なかった費用の何割かでも取り戻すために、避難区域外(自主避難区域)の方も、ADRの申し立てを行っています。文部科学省のホームページ上で、和解事例がいくつも公表されています。その事例の件名に「避難元」の地名も含まれているので、参考にできます。

(例1)「本件事故当時、いわき市に居住していた申立人らが、避難費用、就労不能損害、精神的損害等の損害賠償を求めた事例」／例2「本件事故当時、郡山市に居住していた申立人らが、避難費用及び自家消費していた農作物の損害等の損害賠償を求めた事例」(下記URL参照  
コスモス法律事務所(さいたま市)の小林玲子弁護士によると)

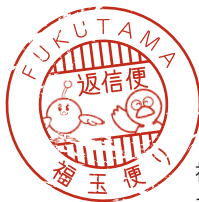
「時効が3年から10年に延長するのは、避難区域だけの可能性が高く、区域外(自主避難)の場合は、今年3月までで時効になる可能性があります。そのため、日弁連では、区域外避難者に対しても、時効を延長すべきであることを一貫して求めています。念のために避難区域外(自主避難区域)のADR申し立ては、来年3月までに提出しておいたほうが良いと思います」とお話されていました。

申し立ては、個人でもできますが、代理人(弁護士等)に依頼することもできます。

身近に相談できる専門家がない方は、こちらでも対応してくれます。避難者なんでもダイヤル0570・078・717(月・水・金15時〜21時)



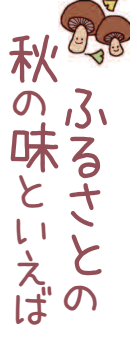
([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/genshi\\_baisho/jiko\\_baisho/detail/1334641.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/genshi_baisho/jiko_baisho/detail/1334641.htm))



11月号のお題

# ふるさとの秋の味といえば これからの住まいについて考えること

福玉便りを愛読ありがとうございます。返信いただいたおハガキで構成する「読者のページ」です。10月号から新しい試みとして、返送用はがきを一部の方に同封したところたくさんの反響をいただきました。今回ご紹介できなかったものは次号でも引き続き掲載していきます。



「山のきのこ(松たけいのはなゆきのした)です。稲刈りの合間をぬって山に入りきのこ採りしました。」(飯館↓福島・50代)

「追ばたに落ちた栗を拾い、新米で栗ご飯を炊きました。栗は冷凍して保存、お正月に集まる家族達にも振る舞いました。鮭の水揚げで大にぎわいの漁港に実家は直近。船主直送で都会の孫子にも送りました。」(南相馬↓さいたま・60代)



「いも煮会です。多くは水のあ

る河川の近くで仲間達でワイワイやります。近くで別のグループの方達が居たりして賑やかでした。」(富岡↓さいたま・50代)

他に新米、ひとめぼれ、さんまフルーツ(りんご、なし、ぶどう、桃、柿、干し柿...)という声も。」穫れたてはぞろぞろ売っているものは味が全然違う」とお聞きしました。埼玉では味わえないものです。(編集部)



「線量 帰りたいもーん。」(浪江↓鴻巣・10代)

「これからの住まいについて考える上で重視したいこと、悩んでいること、希望はありますか」

「線量 帰りたいもーん。」(浪江↓鴻巣・10代)

「埼玉では01μSvを超える高いと市町村に除染してほしいという方がいます。福島では03-04とモニタリングポストに表示してあります。高い所は2μSv以上の所もたくさんあります。外遊びできる環境で家族いっしょに住みたいです。」(福島↓嵐山・40代)

「実家に住まわせてもらって2

年半。お金がたまったら家を出なくてはと思っていました。被災者向けの賃貸住宅は2年半も経つと扱っていないと思

「宮城・富谷↓川越・40代)

「元住所に戻り住む事が基本です。が自分達一代限りになることを考えます。長男が人生設計を見直しました。地元に戻って働くことが出来る職業を選んで結婚し、子育ては3世代家族の協力の元で共働きを続ける筈でした。原発の安全は40年後に果たされますか。孫が40歳...住人がいない、住居も傾いた荒れ地をひ孫に託せるか: 不満、不安、困惑の毎日が続く避難生活です。避難のために家族が4世帯に別れて暮らしている事が原因で経費が嵩んでいる。手続きの書類が往復したり、連絡ミスによる重複で遅れると更に、作業は増えて日がな一日座卓に座っていると立ち上がるトイ、風食を食べ忘れる事があ

ある。精神的損害賠償月額が増えるといい。」(南相馬↓さいたま・60代)

「子どもが環境に慣れて、進学を希望しているのですが、このまま埼玉県に住み続けたいと思

っているが自分の収入だけでは家賃を支払って生活していくのは困難である。そのまま借り上げしてくれないだろうか?」(いわき↓上尾・50代)

「主人が突然亡くなり、一人になってしまい、誰かルームシェアしてくれる人(学生他)はいないかと思っています。(仮設)」(山元↓東松山・60代)

「福島で仕事をする父親と一緒に生活(時間)子どもたちの転校のタイミング。」(富岡↓鴻巣・40代)

「子・子孫たちをのびのび育てられる地。私たちが

生まれ育ったあの恵まれた環境に住みたい。住ませたい。」(双葉↓朝霞・40代)

また2年、もう2年。節目節目で考えなければならぬ(こと)事故がなければ考えなくてもよかった(こと)が降ってくるようです。お一人おひとりが少しでもいつもどおりの暮らしに戻れるよう行動していきたいです。(編集部)

銀鮭です。10月、11月は浪江町の請戸で海の魚の直売社をやりました。おいとたまたまにしまったのが味は思い出になりました。(スマイル・楢葉→さいたま・30代)

子供の進級と共に福島へ戻ることを考えてはいるんですが、長男はこっちへ車通勤して来た時に毎日臭合が悪くなり保健室ばかり行っていました。そのことを考えると私と同じ思いをさせて良いのかと悩んでしま

現在の借り住まいは、急いで決めた所 当座のつりでしたが、もう2年6ヶ月にも成り、島の環境とは全く別の世界、馬川染んだ風景、物に触れぬ無..のは真に心身を丸ごと破壊に行くものです。土のおおきさかた

「子どもが環境に慣れて、進学を希望しているのですが、このまま埼玉県に住み続けたいと思

次号のお題は「ふるさとの年末年始の思い出といえば」「これからの住まいについて考えること」です。同封のハガキ、またはfaxでお寄せくださいね。

福玉便り編集部 FAX.048(826)5184



# 住民票はなくても、「住民」だから…。

## 鴻巣市との行政懇談会を開催して

鴻巣市にお世話になって、早二  
年半。震災のあった年の5月に自  
治会のとりはからいで鴻巣市と  
の面談があり、困っていることな  
どを相談する場を設けていただ  
きました。その後、鴻巣市には花  
まつりのイベントへのご招待を  
頂いたり、各種情報提供を頂いた  
り、市民センターに福島の子社の  
新聞を置いていただいたりして  
きました。誰もがお世話になって  
いると感じて過ごしてきました。

そんな私達ですが、この春、皆  
さんの記憶にも残っているかと  
思います。復興特別交付税がゆる  
きやらに使われていた…という  
報道を聞きました。同じ頃、鴻巣  
市においては**水道料の減免措置**  
が終了しました。それは数か月前  
から決まっていた、避難者の私達  
誰もが今までお世話になってき  
たのだし、税金も払っていないか  
ら仕方ないかな…と受入れてい  
ました。しかし、福玉会議や今ま  
で交流会などで知り合った、想  
いのネットワークを通じて知り  
得た情報では**各市町村により対  
応が違う**ことがわかりました。

避難が長くなり、『鴻巣市にこ  
れから先も住み続けようかと思

っている」という話も聞こえてき  
ます。偶然ここへそれぞれが来た  
けれど、鴻巣市をあえて選んだと  
いう気持ちになれたら、被災者つ  
いていう負い目みたいなモノが減  
っていくのではないかな？と思  
い、鴻巣市の避難者担当の課の方  
とご相談させていただき、懇談会  
を開くことになりました。震災直  
後から私達をずっとプライベー  
トの時間を使って見守っていて  
くださった担当課の方がこの春  
異動になった事も、鴻巣で活動し  
ていく上で、不安になったので、  
**行政と互いの顔が見える形でつ  
ながっていききたい**と思い、実施し  
ました。

会を実施するにあたり事前に  
調べてみたところ、**特別交付税は  
原子力災害避難者に対して年間  
一人42,000円交付される**とい  
う事を知りました。そして、こ  
の税金は避難が長期化する私達  
をどこでも堂々と今を生きてい  
ることを後押ししてくれるもの  
だと復興庁のHP資料から確認。  
さらなる支援の充実を国も後押  
ししてくれることになったので、  
私達に使われているお金の使途  
を整理して、その分、水道料の減  
免措置を続けることはできない  
か、とお願いしました。市は、近隣  
の市町村の状況も考慮してくだ  
さり、**減免措置の再開が決まりま  
した**。また、鴻巣市としても、この  
特別交付税がどの部署でどのよ  
うに使われているかをすべて把  
握し切れていない状況なので、今  
後、調べていききたいということ  
でした。

さらに、都市計画法により住宅  
を取得する際に制限があること  
もこの会を通じて知りました。こ  
れについても鴻巣市からの情報  
提供をいただけることになりま  
した。現在、復興庁へも問い合わせ  
をしているところです。

多分、この様な行政とつながり  
方の模索は鴻巣市に限ったこと  
ではなく、今までにない未曾有の  
震災だからこそ、マニュアルがな  
いので、**誰もが手探り**をしている  
と感じています。いつまでも避難  
者でいてはいけないけれど、声を  
あげないと届かない想いは沢山  
あると思います。そして、そこか  
ら始まるコミュニティもあると  
思います。

**住民票はなくても、「住民」だか  
ら…**。そして、せっかくなら出会えた  
新たなコミュニティを大事に、大  
好きでいたいと思います。  
(鴻巣市・想い／篠原美陽子)

### 水道料金減免の実施状況マップ

篠原美陽子さんの  
調査結果に、  
編集部にて  
加筆しました。



## 長期化する避難生活を支えるには「住環境の改善」が必要

10月30日の毎日新聞朝刊トップに「福島「全員帰還」断念 政府・与党避難区域「移住を」の見出しが打たれ、これまでの「原則全員帰還」としていた方針を政府・与党が転換する方向であると報道されました。

具体的には「線量」による区分を明確にし「帰還困難区域」の住民については「移住」を前提とした賠償金を支払うといっています。

今号の「福玉便り」では「避難先である埼玉県での『住環境』の改善」や「上下水道料金の減免措置」等の行政支援について、改善や充実を求める原稿を掲載する予定でした。

しかし、政府から「移住」という選択肢が提案されるのであれば、避難生活を送る福島県民の住宅について抜本的に考え直す必要があります。避難者の住宅は「郷土の文化や人のつながりを維持できる町」を前提に、「短期の借上げ住宅」ではなく「復興公営住宅」や「仮の町」にしなければならぬのではないのでしょうか。

## 「災害救助法」ではなく「ライフサイクルに対応する」長期の生活「を前提とした「住宅」や支援の提供を

公営等の「集合住宅」入居者からは「避難時に入居した住宅」が「狭くて家族全員の布団も敷けない。」とか「エレベーターがないため(3階・4階の高齢者は)買物にも出られない」あるいは「避難時には小学生だった子供が中学生になって

も机も置けない」などの避難者からの改善要望が出されています。

また、埼玉県内の市町村では、「上下水道料金の減免措置」などの行政支援がバラバラです。「避難者の生活再建」を自治体の都合に任せるとはならず、国や埼玉県は「長期化する避難生活」を前提とした「支援策」を講じるべきです。

## 「埼玉県に福島県民の復興公営住宅を建設する」取組みに支援を

今年5月に加須市で始まった「復興公営住宅を埼玉県内に建設して欲しい」という署名活動は、双葉町と富岡町を中心に(福島)県外避難者の多くの賛同を集め、大きな期待をかけられています。

しかし、双葉町は9月17日に町民有志との話し合いを行ったものの、「埼玉県に復興公営住宅をつくる」ことに否定的であったといえます。双葉町の63世帯・166人は「復興公営住宅」ができれば入居するという意思表示をしています。

福島県は「福島県内への帰還促進」にこだわって来ましたが、国が「移住」という選択肢を持つのであれば「復興公営住宅を線量が低い県外」に建設することは「理にかなった選択」となります。しかも、少しでも「福島県」あるいは「双葉町や浪江町・大熊町などの絆や文化を残す」のであれば、(福島県外での)復興公営住宅が必要であると言えます。何のための住宅か、誰のための住宅なのか、国や県にしっかり考えてもらいたいと思います。

文責(社)埼玉労協 永田信雄

## 羽生つながりカフェ・写真展「ふくしま浜通りの、今」

羽生つながりカフェ 小森和香子

来場者は去年よりも少なかったですが、興味を持ち立ち止まり、一枚一枚写真を見る方が数名いました。お話を聞くと、「息子が(浜通りに)数年間住んでいたことがあり、写真を見ると当時のことを思い出す」とおっしゃる方、「縁もゆかりもないが、テレビや新聞などを見ていたたまれなくなりました。これからも頑張ってください。」とお話しているうちに涙ぐまれながら励ましの言葉をかけてくださった方、「〇〇町に実家があります」としばし地元の話をしてくださった方など様々でした。この写真展がなければ、普段生活している上ですれ違うだけの市民の方々かもしれませんが、しかし、写真展を開催したことで色んなお話を聞くことができ、それぞれの方に「想い」が



あり立ち止まって頂いたことはとてもありがたいと思います。

ちちぶそば祭りの日は、ワンコインで本場のそばが食べられます。紅葉の美しい森林公園もワンコインで入場できる嬉しい施設。今号は二本立てでご紹介します。



### ■ちちぶそば祭り

日時: 11月17日(日) 10時~15時

場所: そば処「ちちぶ花見の里」

秩父市荒川上田野413-3(西武鉄道「西武秩父」駅・「武州中川」駅から会場まで無料送迎バス運行/駐車場400台あり)



知る人ぞ知る、秩父はそばの名所です。80軒以上のそば屋さんがあり、こしが強く、美味しいと言われています。毎年「ちちぶ荒川新そばまつり」が開催され、秩父の美しい紅葉の中、毎年1万人を超える来場者で賑わいます。そば処では、新そばが一人前500円で堪能できます。そばだけではなく、秩父の郷土料理や特産品の販売、秩父郷土芸能やアトラクション、お楽しみ抽選会もあり、親子で楽しめます。

### ■国営武蔵丘陵森林公園

場所: 埼玉県比企郡滑川町山田1920 東武東上線「森林公園」駅/JR高崎線「熊谷」駅より、バスが出ています。入園料: 大人400円・子ども80円・シルバー200円お問い合わせ: 0493-57-2111

日本には国営の公園が17園ありますが、そのひとつが「森林公園」です。熊谷市の「ふるさと交流サロン」やふじみ野市の「おあがんなんしょ」に参加されている方の中には、森林公園への遠足に行ったことがある方もいらっしゃるかもしれません。(先月の「おあがんなんしょ」の遠足は雨で中止になってしまい、本当に残念でした...)

森林公園では、季節に合わせたイベントが開催されています。



- ◆「紅葉見ナイト」22種類約500本のカエデライトアップと草月流アート。ライトアップの時間帯は16時半~20時半。
- ◆「ツリーイング教室」壮大な木登り遊びです。元気なお子さんにおすすめ! 11/10・日、700円
- ◆「森林ヨーガ教室」ママにおすすめ! 11/7・木、11/16・土、10時半~、500円



園内を一周する全長17kmのサイクリングも山あり谷あり、紅葉あり、子どもの遊び場(アスレチックやぼんぼこマウンテン)あり、一日中楽しめるコースです。(園内や、入り口のサイクリングセンターで自転車の貸出があります) 味覚の秋・紅葉の秋を、楽しんでください。



# 県外区域外避難(自主避難)の今 山形編②

前号では子育てランドあくべさんをご紹介しました。今号では、山形避難者母の会の代表、中村美紀さんのお話をご紹介します。

## ◆山形避難者母の会・結成の経緯

山形避難者母の会(以下、母の会)は、山形駅から徒歩15分のところにある、日本興亜山形ビル4階のワンフロア。広々とした開放的な遊び場の「ふくしま子ども未来ひろば」(兼事務所と、習い事(ピアノ等)の部屋があります。

2012年5月、山形避難者母の会の代表、中村美紀さんは郡山市から山形県山形市に避難されました。避難指示区域外からの母と子だけの避難。経済的支援もなく、二重生活が苦しい場合は、当然、母親も就労を希望します。当時、山形県に避難しつつ職を求めていた母親の多くは「子どもをどこに預けたらいいか」という悩みを抱えていたそうです。

「住民票が山形県にないために、保育園はハードルが高く、就職活動ができませんでした。夫もいない、実家もない、コミュニティもない、経済的支援もない状況で、みな孤独でした」

「少しずつ避難している母親たちが出逢い、集いはじめ、輪が生まれました。そこで、まずは一時預かりの保育事業からなんとかやってみよう」と、母の会が結成されました。

## ◆必要とされていた「お話し会」

ところが、はじめてみると、保育事業のニーズだけではなく、お母さんたち自身が「話をする場」を欲しがっていることに気がついたそうです。放射能のことや避難生活のこと、一ひとりで抱えている思いを、誰かに伝える場が必要でした。そこで、毎回テーマを決めて、母親のためのお話し会を開催するようになったそうです。

母親たちは「区域外避難(自主避難)」は決してワガママを言っているわけではないことを、分かっている。残って住んでいる友人との繋がりを無理やり切らなくてはいけなくてつらかった。思いを伝えあっていたそうです。また、専門家の先生を呼んで、お話を聞いて、意見を交換し合ったりもしました。ある時は、福島県に居住し続けている母親と、山形に避難した母親が集まり、交流会を行いました。どういふ状態になったら、安心して住める福島になるだろう」ということを、一緒に考えたそうです。

「私たちは、仲間同士でとことんまで『放射能について』『避難について』話し合っています。だからこそ落ち着いて判断できるようなった部分もあります。その上で、具体的

に、建設的に行動していきたいと思っています」

## ◆母の会・活動の内容

開所当時は、毎月約500人の利用者があったそうです。1日25人の計算です。大きいイベントでは100人以上になったとか。今年(2013年)からは、少しずつ人の数も落ち着いてきたと言います。現在、一時預かりだけではなく、学童保育(1日300円)も行っています。そこでは、ボランティアアさんが、英語、花笠踊り、御茶などを子どもたちに教えています。また、小さな子どもたちのためのリトミックサークル・英語サークル・音楽サークルも開催され、さらに、小学生の子どもたちの習い事教室としても機能し、ピアノのレッスンも行っていました。

母の会では避難生活に必要な情報がたくさんあったA1HHAという情報誌も作っています。子ども年齢とお母さんのライフスタイルにあわせて情報支援を心掛けています。



埼玉から視察に来た母たちと、山形の避難者の母たちとの交流

「埼玉から参加したお一人の感想」  
「山形市は中通りにアクセスがい



▲避難生活に必要な情報が集った棚。いろいろな冊子がありました  
▼避難生活で特に重要な情報は、壁に貼ってあります



いので、福島市・郡山市の方が多く感じました。「いつまで借上げ住宅に住めるのだろうか」という不安を抱えていて、中学や高校への進学時が不安、というところは、埼玉県と同じでした。

山形県の支援で良いな、と思ったのは、「さくらんぼママズ」というしくみ。被災者が採用され山形県の仕事をしています。避難生活の現状を知った上で雇用してくれるので、子どもも都合で欠勤になっても、仲間たちとサポートし合えるところがうらやましいと感じました。(瀬川由希さん)

「山形県は居心地がいいけれど、義理のご両親からの圧力がある中で福島県に帰らなくてはならない、という方もいらっしゃいました。それでも『子どものことが一番大事だからできるだけ避難生活を続けたい』という思いは、皆同じでした。福島県に残って生活している旦那さんの食生活が乱れ、血糖値が上がってしまった、という人もいました。母子避難世帯は経済的に苦しいので、母子家庭へのサポートと同程度のことをしてもらえたら助かるね」と話し合いました。(鈴木直子さん)

今回、視察に参加してくださった方は、11月24日の第二回ママランチでもお話ししていただく予定です。ぜひ、ふるってご参加ください。(編集部・伊藤)

## 「埼玉バス便り」

郡山市の親子が2泊3日で小金井市に遊びに来ました



郡山市の親子が10月12日、14日、2泊3日で東京都小金井市にリフレッシュ合宿に訪れました。迎えたのは小金井市に住む社会福祉士・飯田しのぶさんをはじめとする、実行委員の皆さんです。参加されたのは、普段、月に1度、郡山市で開催されている「ここカフェ(心と心をつなぐカフェ)」に集う親子21人。線量が高いと言われる郡山市で、どう子育てをしていけばいいのか、必要な情報を母親同士で共有しています。

小金井市では、スタジオジブリ、郡山と小金井をつなぐワールドカフェなど、イベント盛りだくさんの2泊3日を過ごし、帰りはさいたま新都心から埼玉バスで帰路につきました。

「交通費がかさむので、こういった無料バスは助かります」と参加されたお母さん。帰りのバスに乗る前に、みんな集合写真を撮影しました。



「交通費がかさむので、こういった無料バスは助かります」と参加されたお母さん。帰りのバスに乗る前に、みんな集合写真を撮影しました。

# グラウンドゴルフが交流のきっかけに

福島県福島市北幹線第二応急仮設住宅

約100世帯が避難生活を  
送られている福  
島市北幹線  
第二応急仮設住  
宅の自治会長の堀江五  
郎さんにお話を伺いました。



**●ふれあい喫茶**  
双葉町では、隣の家まで距離があるのが当たり前。それが仮設では薄い板一枚でくっついていて、トイレの音から水道の蛇口をひねった音、テレビの音まで聞こえます。音が原因で、同じ住民同士がギクシヤクすることもあり、とても残念です。

そこで、住民同士が仲良くしていく手段の一つとして、福島県や福島県社会福祉協議会、双葉町の社会福祉協議会、コープふくしま、コープみらいの方々に協

**●グラウンドゴルフ**

ふれあい喫茶は、お茶飲みとおしゃべり、時につくりものをしたりと、楽しみにしてくれている人もたくさんいますが、男性の参加が少ないです。そこで、男性の早起き目をつけて、朝のグラウンドゴルフを仮設のみならずやってみようかと思いい、すぐ実行しました。空き地を開墾してみんなのグラウンドをつくり、赤十字社から道具を支援してもらい、毎日、仮設住宅のみならずグラウンドゴルフをするようになり、そのおかげもあり、お茶会への参加者も増え、仮設住



宅の情報交換が活発になりました。毎月のサロンへの男性参加が増え、自慢話あり、技術の交流ありと思われ、相乗効果が出ています。同じふるさとの仲間が孤立しないように、寄り添い、励まし合いながら暮らせる復興住宅をぜひ実現したいと思っています。



**●意識を変えていくこと**  
この仮設住宅からも、何人かの方々が住宅を購入して転居しています。新しい生活には、物の準備などももちろん必要ですが、最も必要なことは、仮設から出て、地域に入った時、地域の役に立てるかどうかでないかと思っています。この仮設で、これまでみんなを力合わせてきたように、転居先の地域でも地域の方々と力を合わせて役割を果たしてほしいし、双葉町民はそれが出来ると信じています。



です。双葉町民はそれが出来ると信じています。双葉町民はそれが出来ると信じています。双葉町民はそれが出来ると信じています。

ただでなく、一緒にやっていくことを大切にしたいと思っています。例えば、双葉町民伝統料理を伝えて、それを地域の方々へ広げて行くなど、支援を受ける側にいるだけでなく、他者の役に立っている関わりができれば、と思っています。また、双葉町民の悩みを打ち明け、地域の中にも双葉町民自治会を作ることにも必要だと考えています。

自分たちも復興支援や風化阻止の一端を担っていくという意識改革こそが、仮設でも、それからその先にある地域での新しい暮らしでも必要になってくるのではないのでしょうか。

みなさんお声を  
お待ちしています

今、どうしていらっしゃるのですか。どんなことが楽しみですか。どんなことが気になりますか。うれしいことありましたか。腹の立つことありますか。福玉便りでは、これから、もつとみなさんお一人おひとりの声をお伝えし、いろいろな思いを交換していける場になれば、と思っています。

ぜひ編集部まで教えてください。メール、電話、はがき、どんな方法でも結構です。fukutama@431279.com 連絡先：(一社)埼玉県労働者福祉協議会 TEL048-833-8731



**ありがとうございます!**  
本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にご協力いただいております。

**ありがとうございます!**  
「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただき、発行しています。

月	火	水	木	金	土	日	
28	29	30	<div style="text-align: center;">  </div>	31			
4	5	6	<p>■杉戸町 <b>つつじの里サロン</b> 7 13:30~15:30 杉戸住宅 6-301 毎週木曜★ 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局)</p> <p>■加須市 <b>おしゃべりサロン</b> 毎週木曜★ 15:00~16:00 旧騎西高校生徒ホール 048-864-1749 (コープみらい・福岡さん)</p> <p>■草加市 <b>つなぐりの会</b> 10:30~18:00 <b>東北復興支援販売</b> 物産・観光情報センター</p> <p>■杉戸町 <b>指一本でもできるパソコン教室</b> 10:00~12:00 JWAデイサービスすぎと 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局) 月3回木曜★</p>	7	<p>■上尾市 <b>シラコバト団地被災者の会</b> 2 <b>ひまわり</b> 10:00~12:00 シラコバト 団地第二集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■加須市 <b>かぞびば</b> プレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p> <p>■さいたま市 <b>コープみらいフェスタ</b></p>	8	<p>■越谷市 <b>一歩会</b> 3 いきいきチャレンジまつりでの 浪江焼きそば販売 10:00~ 越谷市増林地区センター 090-1773-9542 (関根さん)</p> <p>■加須市 騎西いちょう祭にて <b>双葉町</b> <b>テント出展</b> (お好み焼き・整膚クラブ他) 10:00~14:00 0480-31-9511(富沢さん)</p>
11	12	13	14	15	16	17	
<p>■さいたま市 <b>11</b> <b>埼玉・謡曲の会</b> 10:30~12:00 WithYouさいたま 4F 和室 080-5532-7380 (薄井さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>12</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■川越市 <b>13</b> <b>ミニカフェ</b> <b>長瀬バスツアー</b> 満員御礼! 070-6651-9259 (伊藤さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>14</b> <b>つながろう!放射能から避難した</b> <b>ママネット@埼玉 茶話会</b> 13:00~18:00 (保育あり) コーププラザ浦和 bjskr146@yahoo.co.jp (木村さん)</p> <p>■熊谷市 <b>ふるさと交流サロンバスツアー</b> 満員御礼!</p> <p>■加須市 <b>かぞびばおとうさんのヤキイモタイム</b> 10:00~騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん) (あそびのひろば合同) 詳細1ページ★</p>	<p>■さいたま市 <b>15</b> <b>つながろう!放射能から避難した</b> <b>ママネット@埼玉 茶話会</b> 13:00~18:00 (保育あり) コーププラザ浦和 bjskr146@yahoo.co.jp (木村さん)</p> <p>■熊谷市 <b>ふるさと交流サロンバスツアー</b> 満員御礼!</p> <p>■加須市 <b>かぞびばおとうさんのヤキイモタイム</b> 10:00~騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん) (あそびのひろば合同) 詳細1ページ★</p>	<p>■羽生市 <b>羽生つながり</b> <b>カフェ</b> 10:00~15:00 パープル羽生 048-601- 3111 (With Youさいたま)</p> <p>■ふじみ野市 <b>おあがなんしょ</b> <b>クリスマスアレンジ作成</b> 13:30~フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)</p>	<p>■春日部市 <b>彩龍の川まつりにて、避難者交流テント設置</b> 10:00~14:00 首都圏外郭放水路グランド</p>	
18	19	20	21	22	23	24	
<p>■川口市 <b>ひまわりの会</b> 10:00~ 南鳩ヶ谷やすらぎ会館 080-5431-0123 (島田さん)</p> <p>■春日部市 <b>春日部つながりカフェ</b> 13:30~16:00 コーププラザ春日部2F 第1会議室 048-829-7400(SSN) ★★★</p>	<p>■さいたま市 <b>18</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>19</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111 ★★★</p>	<p>■さいたま市 <b>20</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111 ★★★</p>	<p>■上尾市 <b>シラコバト団地被災者の会</b> <b>ひまわり忘年会</b> 12:00~ シラコバト団地第二集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■川越市 <b>ミニカフェカラオケ大会要予約</b> 17:00~20:00 SIDAX 鶴ヶ島店 070-6651-9259 (伊藤さん)</p> <p>■加須市 <b>かぞびば</b> 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>21</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>		
25	26	27	28	29	30	1	
<p>■さいたま市 <b>25</b> <b>第9回</b> <b>福玉</b> <b>会議</b> 参加希望 者は事務局 まで</p>	<p>■さいたま市 <b>26</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>27</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111 ★★★</p>	<p>■さいたま市 <b>28</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111 ★★★</p>	<p>■上尾市 <b>シラコバト団地被災者の会</b> <b>ひまわり忘年会</b> 12:00~ シラコバト団地第二集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■川越市 <b>ミニカフェカラオケ大会要予約</b> 17:00~20:00 SIDAX 鶴ヶ島店 070-6651-9259 (伊藤さん)</p> <p>■加須市 <b>かぞびば</b> 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>■所沢市 <b>29</b> <b>青空あおぞら</b> <b>おしゃべり会</b> 13:30~16:00 新所沢公民館 090-3960-8089 (岡田さん) 090-8424-9797 (渡邊さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>30</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>	
2	3	4	5	6	7	8	
			<p>■さいたま市 <b>2</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>3</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>4</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>5</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	
9	10	11	12	13	14	15	
<p>■春日部市 <b>9</b> <b>春日部</b> <b>つながりカフェ</b> クリスマスクッキング &amp;パーティ 13:30~16:00 コーププラザ春日部 クッキングルーム 048-829-7400(SSN)</p>	<p>■さいたま市 <b>10</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>11</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>12</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>13</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■春日部市 <b>14</b> <b>クリスマス会</b> 17:00~20:00 鴻巣市 市民センター 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)</p> <p>■鳩山町 <b>避難者懇親会(忘年会)</b> 15:00~ 鳩山町コミュニティセンター1階研修室 090-2847-9745 (鈴木さん)</p> <p>■新座市 <b>新座さいがい・つなぐり</b> <b>クリスマスパーティ</b> 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p>	<p>■ふじみ野市 <b>15</b> <b>おあがなんしょ</b> <b>クリスマス会&amp;忘年会</b> 13:30~フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)</p>	
16	17	18	19	20	21	22	
<p>■川口市 <b>16</b> <b>ひまわりの会</b> 10:00~ 南鳩ヶ谷やすらぎ会館 080-5431-0123 (島田さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>17</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>18</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>19</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■加須市 <b>20</b> <b>かぞびば</b> プレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>■さいたま市 <b>21</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>	<p>■さいたま市 <b>22</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>	
23	24	25	26	27	28	29	
<p>■さいたま市 <b>23</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>24</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>25</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>26</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>27</b> <b>さいがい・つなぐり</b> <b>カフェ</b> 11:00~15:00 WithYouさいたま 4F 和室 048-601-3111</p>	<p>■さいたま市 <b>28</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>	<p>■さいたま市 <b>29</b> <b>ママランチ</b> 11:30~15:00 別所召会館 048-833-8731(埼玉労福協)</p>	

**福玉、便り**  
お送りします。  
ご希望の方には、  
本紙を郵送でお送りします。

本誌に関する  
ご連絡は  
こちらまで

『福玉、便り』編集委員会  
連絡先：(一社) 埼玉労働者福祉協議会  
電話 048-833-8731  
メール：fukutama@431279.com

こちらのサイトにも情報があります。  
http://431279.com  
(SSN：震災支援ネットワーク埼玉)